



島崎さんが製作したジーンズシヨップの巨大看板(高さ13・8m)。記憶にある方も多いのでは(昭和58年ごろ)

手書き看板の味わいを今に伝える 「現代の名工(広告美術工)」 この技術を後進にも伝えたい

「私には、特別な才能があるわけではないんですよ。先人たちから伝統の技法を教わって自分なりに改良し、少しずつ努力を重ねてきたことが、この年になって実ったのかな」と話すのは、市内入間川にお住まいの島崎榮一さんです。このたび、厚生労働大臣から「現代の名工」の一人に選ばれ、表彰を受けました。

まれながらにしてこの道に進むことが運命づけられていたと言います。中学卒業後、高校に通いながら、師匠である父のもとで、仕事に明け暮れる日々を送りました。もともと字を書くことが好きでもなく得意でもなかった島崎さん。それでも、毎晩遅くまで休まず、深夜まで練習を繰り返して、文字や絵の勉強に励みました。「友だちには、お前ばかりじゃないか。何が楽しみで生きてるんだよと言われたりしてね。でも、やっているうちに好きになっちゃった。うまくなるほど、もつとうまくなりたいうという欲が出てくるんですよ」と当時を懐かしそうに振り返ります。

そして昭和46年、36歳でついに1級広告美術技能士の資格を取得。業界でも一目置かれる存在になった島崎さんは、県の広告美術技能検定員を15年、県立川越高等技術専門校でデザイン実技の講師を5年務めるなど、後進の指導・育成にも尽力してきました。

今回の「現代の名工」の表彰事由となったのは、看板独特の毛筆体である「ぶつつけ字」。島崎さんが最も得意とするところですが、下書きなしで短時間に書き上げる1辺600ミリの文字には、人間味にあふれた力強さと勢いがあります。「コンピュータで作った文字は、きれいでも完璧すぎる気がしますね。手書きの文字は、いくらうまいといっても、間が抜けていたり崩れていたりして、逆に味があると思っ



看板独特の毛筆体である「ぶつつけ字」は、力強く勢いのある字に仕上がる

ているんですよ」と手書きに對するこだわりを語ります。また、島崎さんは「方眼拡大」という技法を駆使して、どのような大きさの看板にも対応できる優れた技術を持っています。あるジーンズシヨップの依頼を受けてカウボーイと馬の巨大看板を製作したとき

その巧みの技の一端は、3月20日(木)から30日(日)まで、新狭山の「ギャラリー麦」でご覧いただくことができます。看板の写真と島崎さんが趣味で彫り続けているバードカービングの展示です。ぜひ、足を運んでください。

は、その見事な出来栄が周囲の人々を驚かせ、以後、10数か所のチェーン店に同じ絵を描くことになりました。「今も毎日、半紙を3枚つないで、文字を書いたり、絵を描いたりして腕が鈍らないようにしているんです。私の技術を後進に伝えられるとうれしいんですが、コンピュータの時代では、早く安くできる方に需要があるからねえ。手書きのよさも知ってほしいな」としみじみ語る島崎さん。



広告美術技能士 島崎榮一さん(入間川)

くさやま 広報 柏原第七区自治会



11月19日(火)に実施した「わいわいウォーキング」月1回、楽しくにぎやかに歩いて5年になります

私たちの自治会は、広瀬地区に隣接し、入間川の昭代橋を渡った水天宮付近から北西部一帯にあります。昔は蜚が飛び交い、かえるの大合唱が聴かれたのどかな田園地帯でした。宅地化が進み、加入世帯620ほどの大所帯になりましたが、伝統ある天王様、夏祭り、敬老会、体育祭は、現在も自治会のメイン行事として、たくさんの方が参加しています。また、クリーン作戦と児童公園の除草を年4回、ゴミ袋を持参した防犯パトロールや2時間ほどのウォーキングを毎月実施するなど、会員と役員が協力しあって、明るく住みよい地域社会づくりに取り組んでいます。

狭山歴史のしおり

西浄寺の宝篋印塔

柏原の西浄寺には、徳川宗武(徳川八代将軍吉宗の次男)が息子の健康や幸福を願って建てた宝篋印塔があります。この石塔は「宝篋印陀羅尼經」を納めるためのもので、昭和63年、強風で倒れた塔を修復する際に、塔身から大黒天の図とともに銅箱に納められた実物が発見されました。なぜ、このような石塔が西浄寺にあるのかは不明で、文京区湯島にある本寺の霊雲寺(徳川家の祈願寺)との関連もはつきりしていません。



●文化財データ
石造 高さ/3.5m
造立年/宝暦4年(1754)3月

今回紹介したものはホームページでも詳しく解説しています。ぜひご覧ください。

人市民リレー

私の宝物...

ミステリアスなジャズレコード

私の宝物は、ジャズファンなら誰もが知っている名盤、エラ・スウィングズ・ライトリナーのLPレコードです。



葛原源成さん(新狭山在住)

46年前、川崎市のレコード店で手に入れた直輸入盤なのですが、実はこれ、ジャケットと中身のレコードが違っていました。ジャケットには再発盤のレコードナンバー(VS-64021)と12曲の曲名が記載されていたのに、なんと中身は16曲のオリジナル盤(V6-4021)だったのです。ジャケットが間違っていたのか、中身を入れ違えたのか真相は不明ですが、幸運にも現在、私の手元にあります。

デジタル音楽が全盛の昨今、ジャズを聴くならLPレコードが私のこだわり。CDでは感じ取れない演奏者の息吹を感じます。まさに、この名盤で聴く音の響きは私の宝。これからも大切にしたいと思っています。



真空管アンプで音色を楽しんでいます

今回は、狭山台にお住まいの方を紹介します。

仲間たち Vol.388

トライキッズジュニアバレーボールクラブ



私たちのクラブは、市内に小学生のバレーボールクラブがなかった10年ほど前、「何にでも挑戦する子ども達」を目標として結成されました。

当初は、大会に出てもなかなか勝つことができませんでしたが、初勝利を挙げた時に見せた子ども達の笑顔はまばゆいばかり。その笑顔が活動を続ける原動力になってきました。

バレーボールの魅力は、守りから攻撃への切り替えのスピード。素早く展開し、アタックが決まったときはとても盛り上がります。

興味のある方は、週に2回、広瀬小学校の体育館で練習していますので、ぜひ見に来てください。

問合せ池内義明さんへ ☎090-1659-0127